

平成 22 年 10 月 25 日

各 位

日 本 農 薬 株 式 会 社
コード番号 4997 東証 1 部
総 務 部

新規園芸殺虫剤「コルト顆粒水和剤」の農薬登録の取得ならびに販売開始のお知らせ

日本農薬株式会社(代表取締役社長：神山洋一、本社：東京都中央区、以下日本農薬)がかねてより農薬登録の申請をしておりました新規園芸殺虫剤「コルト顆粒水和剤」は、平成 22 年 10 月 20 日付で農薬登録を取得しましたので、ここにご案内申し上げます。

コルト顆粒水和剤は、日本農薬が発明し、日本国内ではクミアイ化学工業株式会社と共同開発した新規化合物ピリフルキナゾンをも有効成分とする新規殺虫剤です。ピリフルキナゾンは、アミノキナズリン構造を有する新しい骨格の化合物で、特にカメムシ目および一部のアザミウマ目害虫に高い活性を示します。本剤については、平成 14 年より NNI-0101 のコード番号で社団法人日本植物防疫協会を通じて委託試験が実施され、既存剤対比で安定した防除効果が確認されております。

本剤は、害虫の行動を制御する昆虫行動制御剤（IBR：Insect Behavior Regulator）と位置付けられます。野菜、果樹、茶など多くの作物に多大な被害をもたらすカメムシ目害虫（コナジラミ類、カイガラムシ類、アブラムシ類等）に高い活性を示すことから、作物の安定生産に貢献するものと考えております。

さらに、既存剤（有機リン剤、カーバメイト剤、合成ピレスロイド剤、ネオニコチノイド剤、IGR 剤等）と異なる作用を示すことから、既存剤に抵抗性の発達した個体群に対しても高い効果を示し、薬剤抵抗性管理面から薬剤散布ローテーションにおける基幹剤としても有用と考えます。

また、昆虫における選択性も高く、多くの天敵・有用昆虫に対する影響が少ないことから、IPM（総合的病害虫管理）資材としても活用できると考えます。

本剤の国内での販売は、年内にクミアイ化学工業株式会社とともに開始する予定にしております。

日本農薬は「安全で安定的な食の確保と、豊かな緑と環境を守ることを使命として、社会に貢献します」を基本理念として、農業生産に貢献すべく新規農薬の創出に注力しております。平成 19 年に上市した「フェニックス顆粒水和剤」に引き続き、本年 4 月に「アクセルフロアブル」を上市し、今回カメムシ目害虫を主ターゲットとした新規園芸殺虫剤「コルト顆粒水和剤」の登録を取得しました。タイプの異なる新規農薬の創出により園芸分野における品目ポートフォリオの一層の充実を鋭意進めております。

以 上

本件に関するお問合せ先

日本農薬株式会社 総務部：TEL. 03-3274-3374 FAX. 03-3281-5462 担当／日向